



八代市立
東陽中学校
学校だより

東陽の旋風

かぜ
～つなぐ～

令和8年3月13日(金)
NO. 45
文責：御寄 文男

皆さんの成長はすごい！

翌日に卒業式を控えた3月6日(金)、3年生の**修了式**を行いました。卒業式練習のさなかということもあり、体育館には心地よい緊張感が漂っていました。例年通り、生徒発表、校長講話、校歌斉唱と続きましたが、特に心に響いたのは生徒代表の言葉です。

その発表は、構成の素晴らしさはもちろん、聞く者の心に訴えかける力強さがあり、会場全体が静まり返ってその言葉に聞き入っていました。

代表生徒は本校が大切にしている「小中一貫・連携教育」での経験、特に合同運動会などの舞台上でリーダーシップを発揮したことが、自分を大きく変える「覚醒の瞬間」であったと語ってくれました。



学校としての取組が、生徒の自信と成長という最高の成果となって表れたことに、深い感銘を受けています。これからも小中・地域の連携をより一層深め、子供たちの可能性を広げる教育を継続してまいります。

感動的な式に！

3月7日(土)、**第57回卒業証書授与式**を挙行了いたしました。

例年、八代市の卒業式は、公立高校後期選抜入試(3月第1週の火・水曜日)の翌日にあたる金曜日に行ってまいりました。しかし今年は、入試日程が一日後ろにずれたことに伴い、土曜日の開催となりました。その分、準備にしっかりと時間を充てることができ、卒業生・在校生ともによりコンディションで当日を迎えることができたようです。(来年は金・土かはまだ分かりません)

式典は、厳かな緊張感の中で進んでいきました。証書授与、式辞、告辞、祝辞と、粛々と儀式が行われる中、会場が大きな感動に包まれたのは、やはり生徒たちの言葉が響く「**送辞・答辞**」の場面でした。



特に、卒業生代表による**答辞**は、在校生とともに小中合同運動会で育んだ絆や中体連での活躍、学習発表会、生徒会活動などの歩みを振り返り、「東陽中学校の伝統という襷(たすき)を後輩たちへ託します」という力強い言葉で前半が締めくくられました。

続く後半では、先生方、地域の方々、そして共に歩んだ仲間たち、最後にご家族への感謝が綴られました。中でも、9年間を共にしたクラスメート一人ひとりへ向けたメッセージは、私も初めて目にする光景で、深く胸を打たれました。前日の修了式で発表した代表生徒に続き、会場にいた誰もがその言葉に釘付けとなっていたと思います。



胸にある想いを言葉にし、大勢の前で堂々と伝える。それは大人でも容易なことではありません。3年間にわたる生徒会活動や、小中一貫・連携教育の成果を、その立派な姿に見た思いです。

式の最後を飾った合唱は、また格別でした。私たちは今日という日の感動を忘れず、次年度も生徒たちの可能性をさらに伸ばせるよう、地域の皆様のお力をお借りしながら学校運営に精進してまいります。



～ご意見ご感想等がありましたら、ぜひお寄せください

ホームページ→

